未来会議設立総会　議事録

日時：令和 3 年 3 月 27 日（土）14:00～16:00

会場：西集会所

出席者：

【未来会議構成員】

自治連合会役員	田口　信義、中世古　昭一
自治会推薦	黒部　實、山地　祐輔
各委員会推薦 （推薦母体）	山田　勲（ECOKA）、鎌田　卓（地域安全推進委員会）、須都　紘（いきいきホール）、野津　拓也（HP 委員会他）、中谷内　政之（民生）、黒田　勝行（いきいき街づくり）、蔵田　かほり（ふくまち鹿ノ台）、福家　稔（東西南北桜美会）、谷猪　富貴子（青少年指導委員会）
一般公募	鈴木　豊、山田　修、伊藤　智子、梅本　慎二郎、渡辺　昇

欠席：須田　健一（自主防災会）

【未来会議構成員選考委員】

岡野　豊子、島原　文雄、柴野　元秀、淺間　晋一

欠席：高田　篤

▪ 配布資料：

① 議題

② 未来会議構成員名簿（ｖ２）

③ 未来会議各会議の役割・参加者・開催日等について（案）

④ 令和 3 年度未来会議全体会　予定

主な議事

黒部現連合会長より

・自治会の役員は毎年、交代しているために長期的な課題への対応が難しい。このような課題に取り組むために組織が必要だと考え、連合会において未来会議を立ち上げた。

・会議設立の準備を進めるうえで、鹿ノ台の課題が浮き彫りになってきた。

・鹿ノ台では過去 20 年間で 900 人も人口が減って約 7,000 人となっているが、2040 年には約 5,400 人にまで減少することが予想されている。何もしないと 1/4 が空き家となる。このようなことにならないまちづくりを考える必要がある。この未来会議で色々と検討を進めたい。

田口新連合会長より

・この会議には幅広い年齢層の方が参加され、今回、初めて自治会活動に参加される方もおられる。多様なアイデアが出てくることを期待したい。将来のことをしっかり考えて、進めていただきたい。

・懸案となっている「ぐるぐるバス」については、鹿ノ台が次に生駒市からコミュニティバスの公共交通サービスを提供する候補地として承認されたため、8月・9月頃には導入可否の結論を出す必要がある。このため、住民説明・意思確認を行う特別委員会が新設され、現在検討中である。この委員会の意見も踏まえ、どのように導入を進めていくかについてもこの会議で議論してもらいたい。

未来会議構成員、選考委員の自己紹介

・それぞれより自己紹介を行った。

・構成員からは未来会議に参加するうえで力強い決意が表明され、選考委員からは期待の声があがった。

未来会議暫定役員の選出

・「鹿ノ台未来まちづくり会議規約」第6条に従い、互選により役員を選出した。

・初めて自治会活動に携わる構成員も含まれるため、任期を半年（9月まで）とした。

会長	須都　紘
副会長	伊藤　智子、梅本　慎二郎、中谷内　政之
事務局員	鎌田　卓（事務局長）、鈴木　豊（書記・広報担当）、蔵田　かほり（会計）

須都会長の所信表明

・意欲のある皆さんの思いを伺い、こころ強く大いに期待している。最初に、皆さんに3点申し上げたい。

・まず、この会議の目的である。鹿ノ台の未来の設計図を描いて実現させることである。中期計画を立案し、やるべき順位をつけ、重要なテーマを選定し事業計画に落とし込んでいきたい。

・次にこの会議の進め方である。まず、中期まちづくりの理念を設定し、これを達成できるよう課題整理を進めていきたい。分科会で深堀りし、テーマごとに順位付けをし、連合会とすり合わせして進めていく。資金が必要となるときは連合会と相談していきたい。

・最後に構成員の皆様へ。推薦母体から推薦を受けて参加される方は、推薦母体の利益代表としてではなく、鹿ノ台全体のまちづくりに貢献する立場で活動していただきたい。そのために持っておられる知見・経験・ノウハウをしっかりと活用してもらいたい。

・キーワードは2つ、「参画」と「行動」である。積極的に参加し、自発的に行動していただきたい。次回の会議では、構成員各自で中期的なヴィジョンを考えて表明してもらいたい。

今後の会議の運営、日程

全体会

・役割：中期まちづくりヴィジョン作成、課題抽出、中期計画・事業策定、計画実施

・構成員全員が参加し、毎月第 3 日曜日 13:30 - 15:30（8 月、10 月のみ第 4 日）に開催

幹事会

・役割：未来会議の運営、提案資料作成、進捗度調整、事業推進等

・幹事（会長、副会長、事務局員）が参加し、全体会の前週土曜日 9:30 - 11:30 に開催

分科会

・役割：中期まちづくりのテーマごとの深堀り、事業計画化、具現化

・テーマごとにメンバーを選出し、開催時期、頻度を決定

連絡会

・役割：連合役員会と未来会議の情報・意見交換

・連合役員と未来会議構成員が参加し、原則として 2〜3 ヶ月に 1 回、開催

プロジェクト会議

・役割：新たな課題への取組、横断的課題の解決

・プロジェクトごとにメンバーを選出し、開催時期、頻度を決定

意見交換

・会場に来ることができない構成員には、オンラインでの参加を認める方がよいのではないか。

→ 「Zoom」では 40 分を超える会議は有料となったが、別の委員会で有料 ID を取得済であり、対応可能だと思われる。具体的な方法については今後、検討していく。

・任期が 5 年度と長い。会議の運営方法などについて、早い時期に内規やマニュアルを作っておくほうがよい。

・各構成員がしっかり準備して会議に臨めるよう、会議の終わりには次回の会議のテーマを示してもらいたい。

→ 始まったばかりでいきなり実現させることは難しいが、段階的に実施していければよいと思う。

・コミュニティバスについて、ぐるぐるバスとしてこれまで検討してきた経過を構成員で共有しておくほうがよい。

→ メール送付やクラウドの活用などの方法で資料を共有することを検討していきたい。

・会議の中だけでものごとを決めるのではなく、住民から広く意見を募る仕組みや住民への情報発信が必要なのではないか。

→ ある程度内容がまとまったところで、成果を発表する場があってもよい。

・共通の認識に立つため、鹿ノ台の現状（地域別の空き家率、高齢化率、人口など）を共有しておきたい。

→ 可能な範囲で調べてみる。

・奈良県の自治体の 2/3 は消滅可能性都市（2040 年時点で 20～39 歳の女性人口が半減する自治体）である。特に中和、南和の自治体にこの傾向が顕著である。
・国の施策に基づき、4 月から鹿ノ台小学校と中学校がコミュニティ・スクールに変わる。コミュニティ・スクールとは、地域と学校が両輪となって協働で学校を作っていくという考え方であり、地域との関わりが今後ますます重要となってくる。
・未来会議に予算はついているのか。
→ 運営費予算を確保している。印刷コピー代、事務消耗品、交通費などの事務経費に充てる。事業経費の支出を要する場合は、連合会と相談していく。

事務連絡
・会議を欠席するときは、須都会長あてにメールで連絡してください。

次回

日時
4 月 18 日（日）13:30 - 15:30
会場
西集会所
※幹事会は 4 月 10 日（土）9:30 - 11:30
主な議題
1. 各構成員より中期ヴィジョンの提案
※須都会長宛に 4 月 11 日までにメールで送信しておくこと
2. 鹿ノ台コミュニティバス導入について

以上